

第2章：中区のいま

1. 中区のすがた

中区は、南海電鉄泉北線深井駅を中心に住宅市街地が広がり、陶器川や阿弥陀池などの多様な水辺空間に恵まれ、中南部には良好な田園風景が見られます。交通網では東西に阪和自動車道、南北に泉北1号線（府道堺狭山線）が走り、堺市のほぼ中央に位置し、交通の便に優れています。

また、中区には、仏教の教えを広め民衆に寄り添いながら、寺院の建立やインフラ整備を通じて人々の生活向上に尽力した行基の足跡が多く残っています。さらに、行基が建立した土塔（国指定史跡）をはじめとする貴重な歴史資源や注染（浪華本染め）・和晒の伝統産業が受け継がれているなど、魅力あふれる地域です。

■ 面積 17.88km² ■ 人口 115,745人 ■ 世帯数 51,501世帯

(資料) 推計人口(暫定値) (令和8(2026)年2月時点)



① 教育文化センター（ソフィア・堺）
（中区深井清水町1426）



傾斜ドームの宇宙型プラネタリウムや府内最大級の口径60cmの望遠鏡を備えた天文台を有しています。

② 平和と人権資料館
（中区深井清水町1426 教育文化センター内）



戦争の悲惨さ、平和の尊さ、人権の大切さ、そして互いの人権や地球環境を守ることの大切さを訴え、次世代に伝える施設です。

③ 中図書館
（中区深井清水町1426）



ソフィア・堺内にあり、教育・技術・工学・言語関係の資料を多く収集しています。

④ 中図書館東百舌鳥分館
（中区土塔町2363-23 東百舌鳥公民館内）



東百舌鳥公民館内にあり、地域の身近な図書館として利用されています。

⑤ 土塔（国指定史跡）
（中区土塔町2143-1）



堺出身の僧、行基が築いた十三重の仏塔である土塔は、国指定史跡です。令和9（2027）年に創建1300年を迎えます。

⑥ 注染（浪華本染め）・和晒



石津川流域の毛穴地域には、注染（浪華本染め）・和晒の工場が集積し、伝統の技術が受け継がれています。注染（浪華本染め）は国の伝統的工芸品に指定されています。

⑦ 原池公園
（中区八田寺町320）

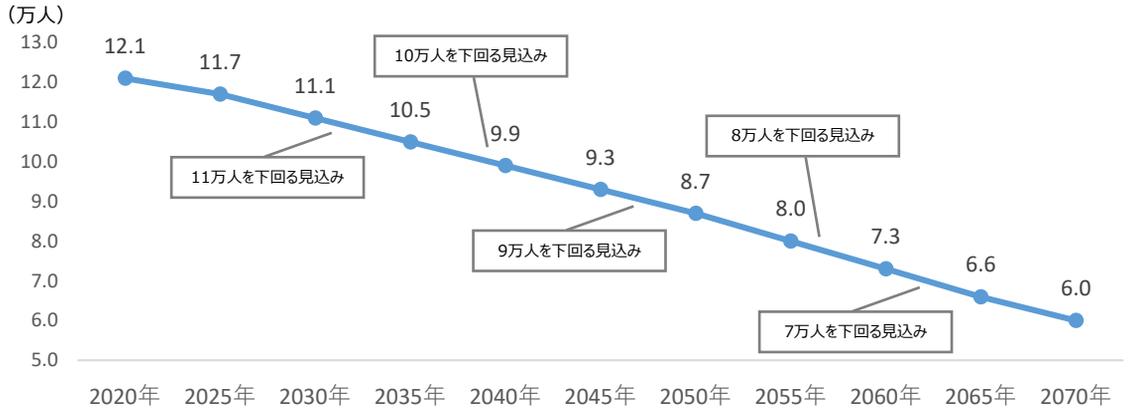


子どもに人気の大型遊具や西日本最大級のコンクリートスケートパークを有しています。原池公園野球場は、大阪府南部では最大規模となる5,000人収容の本格的な野球場です。

2. 数字で見る中区

■ 中区の人口

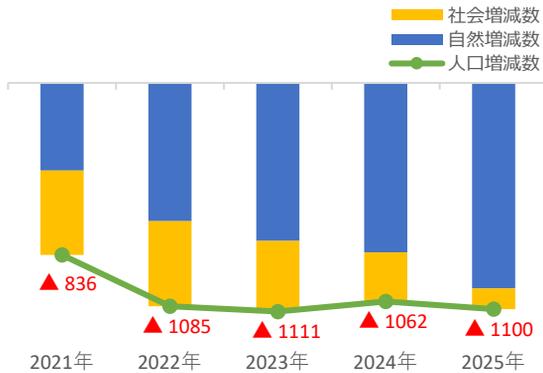
区の人口は、約**11.6万人**（令和8（2026）年2月時点）。全国的な傾向と同じく今後減少する傾向にあり、令和22（2040）年には10万人を下回る見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

■ 中区の人口動態（自然増減・社会増減）

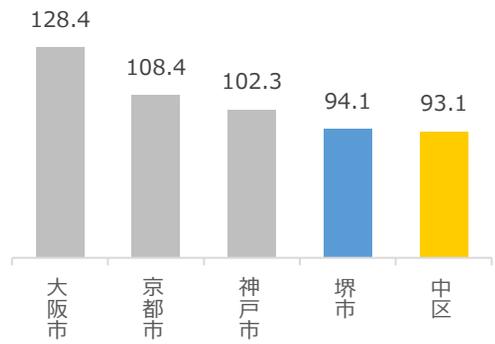
人口動態の内訳では、自然減と社会減の状態がともに続いています。



（資料）総務省「住民基本台帳（外国人含む）」

■ 昼夜間人口比率

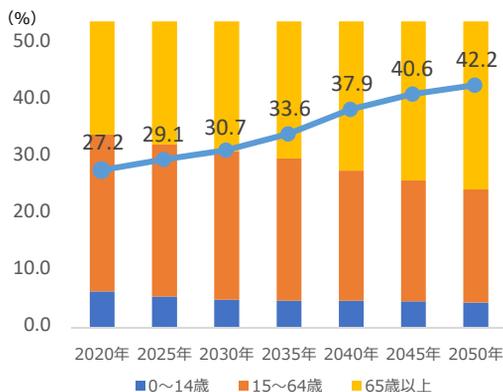
区の昼夜間人口比率は約**93.1%**で、堺市全体の数値よりも低くなっています。



（資料）総務省「国勢調査」（2020）

■ 年代別人口割合と高齢化率

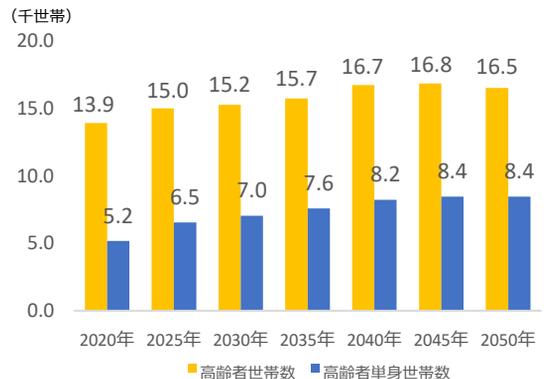
区の高齢化率は約**29.1%**で、今後高齢化が加速する見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

■ 高齢者世帯数・高齢者単身世帯数

高齢者世帯数及び高齢者単身世帯数は増加傾向で、令和27（2045）年には高齢者世帯の半分を高齢者単身世帯が占める見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

3. 前計画の評価

前計画において分野別要素ごとに設定していたKPI（重要業績評価指標）の進捗状況や、主な事業の取組状況、中区区民アンケート等を踏まえて評価を行いました。

なお、各年度のKPIの進捗状況は10ページに示しています。

■ 子育て

- ・子育て世代への支援につながる各種取組を実施し、子育て環境の整備やこどもの健やかな学び・育ちの確保を推進しました。主な取組として、子育て家庭が子育ての不安や悩みを一人で抱え込み孤立することなく、安心して子育てができるような地域をめざすため、子育て家庭同士が交流し、子育て支援課に相談できる関係を作ることができるよう子育て講座や交流会を開催しました。また、学校に行きづらい子どもたちが安心して過ごせる場所として区役所内に「中区役所こどもの居場所」を設置しました。
- ・子育てに関するKPIは前計画策定時より2.2ポイント減少していますが、そのうち中学生までのこどもがいる子育て家庭についてみると、中区全体と比較して10ポイント程度高く、これまでに実施した子育て講座や交流会の参加者アンケートでも満足度の高さが確認されています。一方で、本市のこども・子育て支援に関する調査結果では、子育ての環境整備や費用援助と合わせて、相談体制の充実や子育て関係の情報提供、交流の場の充実を望む意見もあり、また、中区区民アンケートの結果では、区の課題として「子育て支援」と回答している割合が高くなっています。講座や交流会参加者の満足度は高いものの、子育て支援を課題とする意見がある現状は、子育て支援に関する情報がその情報を必要としている方に的確に行き届いていないことや、現在子育て家庭ではない方に中区の子育て支援の取組が知られていないことが要因として考えられます。
- ・今後は区が行う事業の実施に加え、情報を必要としている方への適時適切な発信や、現在子育て家庭ではない方へも広く知っていただく情報発信を推進します。

■ 福祉

- ・すべての人がいつまでも住み慣れた地域社会で自分らしく暮らすため、各種取組を実施し、高齢者・障害者福祉の充実やセーフティネットの保障と自立支援を推進しました。主な取組として、地域や関係機関との連携を深めるため、区高齢者支援ネットワーク会議の開催や、障害のある人への理解と啓発を目的として作業所交流イベント（ナカ・ナカマ♡ネットワーク）を開催しました。また、生活困窮者に対する相談・支援を適時実施し、必要に応じて生活保護の適用を行うなど自立支援に係る取組を行いました。
- ・福祉に関するKPIは令和4（2022）年度において調査した結果（最新値）が計画策定時の数値を下回っていますが、いずれも80%を超えており、高止まりによる数値の伸び悩みが考えられます。また、現在実施している各種取組が「かかりつけの医師を持つこと」に直接つながっていないことも要因として考えられます。一方で中区区民アンケートの結果では区民が感じる中区の課題として「高齢者や障害のある方に対する相談支援」と回答している割合が高い状況であり、相談体制の充実が求められています。
- ・今後、相談体制の充実の観点を踏まえ、高齢者・障害者福祉の充実やセーフティネットの保障と自立支援に向けた取組を推進します。

■ 安全

・区民が自らの生活の基盤に安心感を抱くことができるよう、災害に強く、犯罪等が起こりにくい環境整備を進めるため、地域防災力の向上や犯罪や事故のない暮らしの実現に向けた各種取組を推進しました。主な取組として、各校区で実施される自主防災訓練や、必要な資機材整備の支援を行いました。また、区民の防犯意識の向上を図るため、警察署や関係機関と連携した啓発活動の実施や、防犯カメラ及び防犯灯の整備を推進しました。

・防災に関するKPIでは、前計画策定時より6.4ポイント上昇しました。校区単位で取り組む自主防災訓練に対する支援等により、地域での防災意識が向上していることが理由の一つであると考えられます。中区区民アンケートの結果においても、区民が感じる中区の魅力として「災害に対する安心感」と回答している割合が高く、その回答者の内訳としては、自治会加入者の割合が高い状況でした。自治会加入者は自主防災訓練等の取組や防災に関する情報などに接する機会が多いため、「災害に対する安心感」を中区の魅力と感じる区民が多いと考えられます。そのため、自治会に加入していない区民にも自主防災訓練等の防災に関する地域の取組が伝わるような情報発信が必要です。

次に防犯に関するKPIでは、令和3（2021）年度に一時的に上昇した場合を除き、50%未満の割合で推移しています。KPIに記載の「治安に関する不安」については、警察や行政、地域による取組状況に加え、犯罪情勢も影響を及ぼす要因の一つと考えられます。近年では、特殊詐欺や車上狙いといった生活に身近な犯罪が増加しており、こうした傾向が区民に「治安が悪化している」との印象を与えていると考えられます。中区区民アンケートの結果では区民が感じる中区の課題として「治安」と回答している割合が最も高く、治安向上に向けた取組の推進が必要です。

・今後、自主防災訓練などの防災に関する情報のより一層の周知啓発や、警察等との連携を一層強化し犯罪が起こりにくい安全で安心な地域社会の実現に向けた取組を推進します。

■ 環境

・中区の有する緑あふれる自然環境を守り次世代へ引き継ぐために各種取組を実施し、緑あふれる清潔な街並みの維持や省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現を推進しました。主な取組として、ボランティアグループ花輪が育てた花苗の地域への配付や不法投棄未然防止パトロールを行いました。また、大阪公立大学の学生が作成した省資源化に関するパネル展示や、区役所におけるペーパーレスの推進、ごみの減量・リサイクルを行いました。

・街並みの美しさに関するKPIでは、前計画策定時から12.5ポイント上昇しており、これまでの継続した取組が寄与していると考えられます。次にごみの減量リサイクルに関するKPIでは、前計画策定時から7ポイント上昇しており、区役所で行う周知啓発の取組が寄与していると考えられます。

・今後、緑あふれる清潔な街並みの維持に向けた取組や、ごみの減量・リサイクルを含む環境問題に関する周知啓発に係る取組を引き続き推進します。

■ 歴史文化

- ・中区の伝統産業や歴史的施設などの貴重な地域資源の素晴らしさを広め次世代へ引き継ぐために各種取組を実施し、歴史的な魅力の再発見や文化・芸術活動の振興を推進しました。主な取組として、区役所で注染製品の展示や販売、雪花絞り染め体験の開催や、行基が建立した土塔については令和9（2027）年に迎える創建1300年に向けての魅力発信を行うウォーキングイベントや特別講演を行いました。また、文化に親しみ文化を大切にする地域社会の実現を目的とした中区文化のつどいの開催や、中区まちなかギャラリー事業の実施、ひるどきコンサートを開催しました。
- ・歴史文化に関するKPIでは、前計画策定時より12.2ポイント上昇しており、これまでの魅力発信の取組が寄与していると考えられます。次に、文化芸術に関するKPIでは、いずれの年度も40%を下回る数値で推移しています。数値の向上に向けては、区が行う取組の推進はもとより、既存のイベントや文化的資源の魅力発信を一層行うなど区民へ情報を届けることが必要です。中区区民アンケートの結果では、区民が感じる中区の魅力と課題ともに、「歴史文化」、「文化・芸術活動のしやすさ」を回答している割合が低く、関心が持てるような取組や魅力発信が必要です。
- ・今後、中区の魅力発信に係る更なる充実を図り、本庁部局とも連携の上で、取組を推進します。

■ 健康

- ・すべての人が健康でいきいきと暮らすための各種取組を実施し、それぞれに合った健康増進習慣の確立や健康を支える地域社会の構築を推進しました。主な取組として、健康増進に関する情報提供や、中区区民フェスタ内で肺がん・結核検診や、日曜日に乳がん・子宮頸がん検診を開催しました。また、生活習慣病予防等を目的とした講座の開催や、自主活動グループの活動支援を行いました。
- ・体調管理に関するKPIでは、前計画策定時より5ポイント上昇しました。次に、身近な相談に関するKPIでは、前計画策定時より14.5ポイント上昇しました。これらKPIの向上には、これまでに実施してきた取組が寄与していると考えられます。中区区民アンケートの結果では、中区の将来に期待するものとして「住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けられる」を回答している割合が高く、安心して心豊かに暮らし続けるためには「健康」であり続けることも重要な要素であると考えられることから、本分野での取組を着実に進めることが大切です。
- ・今後、区民が健康増進に取り組むことができるよう、健康増進や生活習慣の改善に向けた取組の支援や健康を支える環境の整備を推進します。

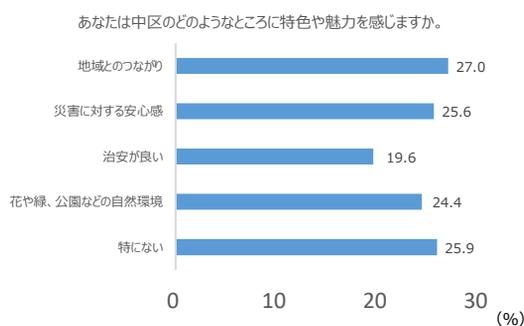
■ 交流

- ・中区をより活気あふれた地域にするために各種取組を実施し、地域課題解決力の強化や区民間交流を推進しました。主な取組として、地域と連携・協働した中区区民フェスタの開催や、区の政策に関する事項について意見聴取を行う中区政策会議を開催しました。
- ・交流に関するKPIは前計画策定時よりもわずかな上昇に留まっています。一方、中区区民アンケートの結果では、区民が感じる中区の魅力として「地域とのつながり」と回答している割合が高いことから、アンケート回答者の地域交流に関する意識の高さが推察されます。これらの結果を踏まえ、中区区民アンケートに回答した区民のみならず、地域活動の活発さをより多くの区民に感じていただくための取組が必要です。
- ・今後、様々な事業を実施する際には、より多くの方に地域活動の魅力が伝わるように、情報を受け取る方に応じた情報発信を適時適切に行い、広く区民の交流を促進する取組を推進します。

【参考】中区役所「中区区民アンケート」（令和7（2025）年）の回答結果 上位抜粋

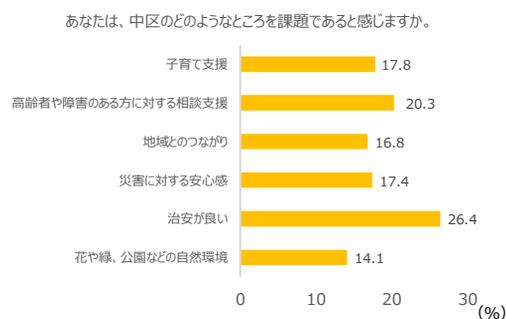
■ 区民が感じる中区の魅力

「中区の魅力」を問う設問では、「地域とのつながり」が中区の魅力であると感じている区民の割合が最も高く、27.0%です。



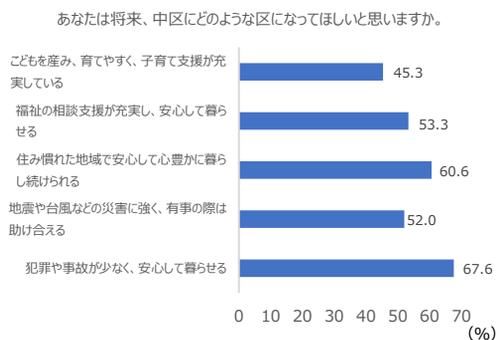
■ 区民が感じる中区の課題

「中区の課題」を問う設問では、「治安」が中区の課題であると感じている区民の割合が最も高く、26.4%です。



■ 区民が希望する中区の将来

「中区の将来」を問う設問では、「犯罪や事故が少なく、安心して暮らせる」中区を希望する区民の割合が最も高く、67.6%です。



【前計画におけるKPIの進捗状況】

(単位：%)

| 分野別要素 | 指標 | 前計画策定時(2019)※1 | 2021※1 | 2022※1 | 2023※1 | 現状値(2024)※1 | 目標値(2025) |
|-------|--|----------------|--------|--------|--------|-------------|-----------|
| 子育て | 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 53.0 | 58.3 | 43.9 | 58.4 | 50.8 | 63.0 |
| 福祉 | 日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師はいますか。 (堺市高齢者等実態調査※2 において「いる」と回答した中区民の割合) | 85.6 | - | 84.7 | - | - | 90.6 |
| 安全 | 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 56.7 | 66.9 | 64.7 | 62.8 | 63.1 | 66.7 |
| | 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 48.3 | 56.3 | 40.4 | 49.4 | 46.6 | 58.3 |
| 環境 | 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 33.3 | 44.7 | 43.3 | 51.1 | 45.8 | 43.3 |
| | ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 (市民意識調査において「積極的に取り組んでいる」「ごみの分別などルールを守っている」と回答した中区民の割合) | 79.3 | 85.7 | 82.8 | 85.3 | 86.3 | 84.3 |
| 歴史文化 | 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 61.3 | 71.0 | 66.7 | 72.3 | 73.5 | 71.3 |
| | 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 34.2 | 32.7 | 32.6 | 38.1 | 35.5 | 44.2 |
| 健康 | 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の体調をチェックしていますか。 (市民意識調査において「している」と回答した中区民の割合) | 70.0 | 74.3 | 73.8 | 79.5 | 75.0 | 75.0 |
| | 健康や介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり、助けてくれる人が身近にいますか。 (市民意識調査において「いる」と回答した中区民の割合) | 55.9 | 70.9 | 64.0 | 70.6 | 70.4 | 65.9 |
| 交流 | 堺市は地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域での様々な活動が活発なまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合) | 57.1 | 56.9 | 52.9 | 62.7 | 57.5 | 67.1 |

※1 KPIに用いる数値は「堺市市民意識調査」から引用(「2019」は令和元(2019)年度、「2021」は令和3(2021)年度、「2022」は令和4(2022)年度、「2023」は令和5(2023)年度、「2024」は令和6(2024)年度の調査結果を使用。令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。)

※2 分野別要素「福祉」に係るKPIに用いる数値に限り、「堺市高齢者等実態調査」から引用(堺市高齢者等実態調査は3年に1回の実施。)